

会 議 録

会 議 名	(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設 第 6 回市民検討委員会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成 2 2 年 11 月 28 日 (日) 午後 6 時 00 分から午後 8 時 00 分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎 8 階 801 会議室		
出 席 委 員	渡辺委員長 浅野副委員長 福島委員 仙波委員 多田委員 伊藤委員 桂委員 平井委員 雫委員 三島委員 中村委員 松尾委員 藤井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺生涯学習部長 大関公民館長 上石図書館主査 山崎庶務係長 渡辺事業係長 松下庶務係主事		
事 業 者	株式会社 前川建築設計事務所 橋本(代表取締役・総括責任者) 田中(意匠担当主任技術者) 浜 (機械設備担当主任技術者) 畑野(意匠担当技術者)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 前回の質問事項等について</p> <p>2 基本設計について</p> <p>(1) 前回プランの調整と断面計画について</p> <p>(2) 構造計画について</p> <p>(3) 設備 (電気・空調・給排水) について</p> <p>(4) 環境への配慮について</p> <p>3 次回以降の日程について</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 質問事項回答一覧 (11/17 まで受付分) …資料 21</p> <p>(2) 全体配置・平面・断面計画について …資料 22</p>		

## 会 議 結 果

大関公民館長 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設・第6回市民検討委員会を開催する。

### 会議開始にあたって

大関公民館長 お手元に資料 21,資料 22 を配布してあるので確認をお願いしたい。  
— 配布資料の確認 —

前回(第5回)会議録の承認をいただきたい

—承認 多数—

渡辺事業係長 皆さんご存知の「月刊こうみんかん」でこれまでの進捗状況を伝えてきたが、

来年この市民検討委員会の写真を掲載させていただけたらと考えている。その際写真に写るのは控えたい方がいらっしゃれば対応するので、今でも別途個別にでも構わないので申し出ていただきたい。

### 1 前回の質問事項等について

渡辺委員長 お手元の次第に従ってすすめていきたい。

前回の質問事項等について、事務局からお願いしたい。

山崎庶務係長 前回の傍聴者の方からご質問があり、関係課と調整して作成した回答を資料 21 として配布しているのでご確認いただきたい。

渡辺委員長 一つ目の質問については調整をしている最中であり、二つ目の質問については電気で問題ないと考えているということか。

山崎庶務係長 現時点では、そのように考えている。

渡辺委員長 一つ目の質問の「二重に利用」というのはどういうことか。

前川・田中 車の転回スペースとして境界線をまたいでお互いに利用することを提案していた。現在敷地境界の位置について協議している最中であるが、境界を超えないようにする方向で検討している。

渡辺委員長 関連施設が二つあって、敷地を有効利用出来ないのはもったいない気がする。一般的に民間事業者がこのような土地利用をする場合には境界線を明確にし、とあるが、それはそうだが、民間同士でシェアすることもよくある。

前川・田中 我々も他県では有効利用の方向で実現した経験はあるが、この件に関しては市に委ねている。

渡辺委員長 しっかり検討していただいた方がよいと思うが、あまり杓子定規にやってしまうのもどうかとも思う。これについては引き続き検討中ということで、決定次第ご報告していただくということで宜しいか。

渡辺生涯学習部長 はい。

### 2 基本設計について

前川・橋本 今回は当事務所から設備担当の浜が出席している。

前回いただいた宿題と構造計画、設備計画、環境への配慮について説明する。

#### (1) 前回プランの調整と断面計画について(前川・田中)

## 資料 22 参照

- ・ 前回提示したAR案の発展形としてAR2案とした
- ・ 全体配置：北一会館廻りの境界線位置については、駐車場・駐輪場を含め検討中
- ・ 1階図書館について

入口廻り（BDS：図書紛失防止装置）の出入り易さの工夫

読書テラス範囲を広く、出入口を2箇所配置

OPAC（蔵書検索）、自動貸出機、予約受取スペース： 将来対応も含め

蔵書数確認 開架図書： 一般合計+児童合計= 56,000 > 55,000 冊

（一般：児童 = 3：1）

AVメディア： VHS：1,160本+DVD：1,300本+CD：1,600枚

新聞：12紙、雑誌：84誌

閉架図書：5,000冊

書架形状 一般書架：6段（h=2m）

児童書架：4段・3段（h=1.1m）

AV書架：5段・4段（h=1.4m・1.7m）

席数 一般：テーブル(12人)+カウンター(12人)+キャレル(4人)+丸椅子

YA：テーブル(4人)+カウンター(5人)+キャレル(4人)+丸椅子

AV：テーブル(6人) + 新聞：テーブル(3人)

ブラウジング：ソファ(9人) + 丸椅子

児童：テーブル(14人)+カウンター(3人)+お話+丸椅子

事務室廻り：カウンター形状、什器配置は調整中

図書館閉館時の区画方法：夜間はFIXガラスと扉施錠

防火シャッター（非常時区画）

松尾委員 カウンターの形状が調整中とのことだが、職員が予約受取のコーナーへは頻繁に行き来することが予想されるので、わざわざレファレンスの方を廻るのではなく、返却の部分が切れていた方がよいと思う。

AVメディアについてVHSが1160本とあるが、現在はVHSの時代ではなく、DVDやブルーレイの時代なので主力構成を検討していただきたい。VHSの利用低下に困っている図書館が多い。

渡辺委員長 VHSをどうするかについては設計者より図書館側の意見をお聞きしたい。

上石主査 3年後のことを考えると何とも言えない状況なので、今後実施設計で検討していくことと考えている。

渡辺委員長 色々なメディアがあることはよいが、これらの聴き方はどのような考えでいるのか。

前川・田中 AV資料コーナーに6席用意して視聴できるようにしている。

渡辺委員長 逆に言えば6台しかないことになるが、すべてにVHSを入れることになるのか。

前川・田中 そのあたりはコストとの関係もある。

渡辺委員長 今お持ちのVHSについてどうするか判断していただかなければならない。

上石主査 本館もAVコーナーといってもCDしか扱っていないが、何もないわけにもいかないなので、今後整えていきたい考えでいる。

渡辺委員長 全部観れるのが一番だが、ご検討いただきたい。

前川・橋本 今回お示ししたのは、だいたいの容量を把握していただくために挙げている数字で、どのような機器を入れるかについては図書館サイドにお任せしている。今後、備品工事の中で多少レイアウトが変わる可能性もあるが、現時点で必要とする蔵書数を確保するためには、この程度の書架等が必要であるということをご理解いただくために示している。先程ご指摘にあったカウンターについても、今後の発注方式にも絡んでくるものではありませんが、ご意見は承っております。

渡辺委員長 ここにある各メディアの本数、新聞・雑誌数については図書館が決めていることではないのか、そういうスペースがあるということなのか。

前川・橋本 スペースがあるということである。

渡辺委員長 それと図書館の現状或いは将来計画と大きくずれていることはないかと理解してよいのか。

上石主査 新聞、雑誌等については700㎡程度の図書館ではこれくらいであろうというのは図書館年鑑等で調べているが、AV資料については、今後の検討課題と捉えている。

渡辺委員長 現時点でCDしか扱っていないのであれば、今更VHSを購入する必要はないように思えるが。

仙波委員 そのうちに製造中止になるのではないかと。

・2階公民館について（前川・田中）

創作室 : 流し台等の什器配置  
 食のスペース : 調理台、収納等の什器配置  
 室名について : 講義室A → 学習室C・D（可動間仕切壁により分割）  
                   講義室B → 学習室A・B（可動間仕切壁により分割）  
                   保育室 → 生活室  
                   中高生のスペース → 若者のスペース

・創作室の遮音について：二重ガラスによるパーティションでD45程度の遮音は可能であり、廊下を間に挟んでの他室への影響は少ないと考える。  
 床衝撃音については床材料に配慮し下階に影響のないようにする。  
 吸音性のあるパネル等を使用し利用者が心地よく利用できる室内環境を整える。

前川・橋本 床衝撃音についてはスラブの厚さにもよるが、遮音性能には十分配慮しながら設計を進める考えでいる。  
 レクリエーション室についても基準や今までの経験を設計に活かし工夫していく。

藤井委員 前回公民館事務室のカウンターはローカウンターを考えているとの

	ことだったが、図面では職員側には椅子があつて、利用者側には見受けられないのはどうしてか。
前川・橋本	職員も利用者も腰掛けられるように配慮する。
浅野副委員長	創作室をシースルーにすることはよいと思うが、とある公民館で同じようなシースルーにしたところ、利用者から顔を見られては困るという意見があがり、すべてやり直したという話があったので、皆さんの総意としてどうなのか確認したい。
前川・橋本	我々としては、中の催しが見えることで利用者の参加意欲を高めることにつながるのを期待しているので、見られたくない時にはロールスクリーンやブラインドを下ろせるような設えにする。
雫 委 員 福 島 委 員	ブラインドで遮蔽されるのであればよいと思う。 ブラインドを下ろせるつくりにすると、大半の方が下ろすような気がする。そうなるシースルーにする意味がないのではないか。 或いは全体をそうするのではなく、一部が見えるようにすれば両方叶うように思う。
渡 辺 委 員 長 浅野副委員長 渡 辺 委 員 長	シースルー反対派の方の反対する理由は何があるのか。 落ち着かないというのが一つで、集中したい時には覗かれたくない。 学校や大学でもシースルーを増やす傾向にあるが、落ち着かないというのは分かる。
仙 波 委 員	創作室は常時創作室になるのか。曜日で利用目的を決めたり、要望があれば別の目的に使っても構わないのか。
大関公民館長	他の部屋がいっぱいの時など、創作室を会議室として使っても構わない。実際に他館では家事实習室を会議で使用する例もある。 必ずしも創作に使わなければならないというわけではないと認識していただきたい。
仙 波 委 員	創作室とするとその機能だけの部屋と思われがちなので、複数の表示をしておいた方がよいと思う。
前川・橋本	学習室でも構わないと思う。そこでは創作も出来るというのが分かればよい。先程のネーミングと運用の問題についても、多様性を持たせればすべて学習室でもよいのではないかとも思う。
渡 辺 委 員 長	逆に小金井らしい名前にしてもよいと思う。 そういう話であれば、若者のスペースというのも建物の隅の方に追いやられているのも気になる。若者はここにしか行ってはいけないのか。フリースペースが横に広々とあるのだが。 楽器練習室の隣なので、おそらくこの辺りに若者が集まるだろうということだと思うが。
前川・田中 多 田 委 員	若者が来やすいのではないかと考えている。 レクリエーション室以外はすべて学習室にしたらどうか。 学習室A, B, C, D, E…のように。
渡 辺 委 員 長 雫 委 員	そういう考えもあると思う。学習室（創作室）というような。 優先順位というのではないのか。

浅野副委員長 雫 委員	<p>陶芸などで好きな人は毎日でもやりたい。      集中的にとられてしまっていて、他の部屋を使ってくださいということになれば、陶芸をやる方は使いずらくなってしまう。      予約を受け付ける時には優先順位があると思う。      創作がないので空いているから使いますか、というようなことではどうか。</p>
前川・橋本	<p>先程の若者のスペースも追いやられる一方で自分たちのスペースだとかたちにもなるように思える。それが呼び水になる可能性もあるのではないかと。ネーミングと位置づけというのは地域センターを運営する上で理想的にも係ってくる問題である。</p>
渡辺委員長	<p>前回もお願いしたが、大き目の模型を作っていただくと、皆さんが空間の大きさを理解しやすくなるのではないかと。この模型ほど大きくなくてよいが1/50くらいのもので用意していただきたい。</p>
平井委員	<p>全部が学習室では味気ないと思う。      個人的には学習という言葉は好きでない。やはり、それぞれの部屋を特徴のある名前にして、部屋の内装もそれに合わせた配慮があってほしい。使用上の優先順位も大事だと思う。</p>
渡辺委員長 浅野副委員長 渡辺委員長	<p>いつ決めればよいか。      早めに決めた方がよい。      基本設計の間で決めた方がよいか。      これについて他に意見はないか。</p>
福島委員	<p>当然リミットがあると思うので、宿題にして皆さんで考えてはどうか。仮の名称にしておいて、公募するようなお考えは市の方にはないのか。</p>
渡辺委員長	<p>建物名称を公募することはよくあるが、部屋の名前については、市民の代表として皆さんが選ばれているので、この席で決めてよいのではないかと。次回の委員会までにお考えいただいて、委員会の少し前にご提出していただき、それを整理しておいて議論するというのは如何か。</p>
藤井委員	<p>貫井北町地域センターが小金井で唯一の公民館ではなく、他にもあるので、他のセンターと揃えた方がよいのではないかと。      今まで利用されてきた方には既にインプットされたイメージみたいなものがあるので、ここだけ変えるのはかえって紛らわしくなると思う。</p>
渡辺委員長 藤井委員	<p>まだ決まった訳ではなく、これから検討していこうという話である。      大きく公民館というくくりで言えば、他の館と一緒にの方が使いやすいと思う。</p>
渡辺委員長	<p>ただ、馴染んでいるから変えなくてよいのかという問題もあるし、こういう時でないとは変えられないというものもある。ここで変えることによって他の館も共鳴して変える動きが出てくるかもしれない。      どなたも非常識なものは出してこられないと思うし、市民が馴染みやすい言葉であればよいと思う。こちらには専門家の浅野先生もいら</p>

っしゃるので、皆さんの案が出てきた段階でご意見を伺って、合意に達すればよい。今のところフリースペースというのは、分かりやすく非常によいと思うが、一個一個すべてを考えるのは大変だと思うので、気になるところだけ検討していただければよい。

・屋上について（前川・田中）

ハイサイドトップライト、設備機器・配管、太陽光発電設備等が置かれる交差点側に植栽を施す

・断面計画について（前川・田中）

創作室天井高さ 東側の低い部分： 2.2m → 2.3m

学習室、食のスペース天井高さ 北側の低い部分： 2.1m → 2.4m

渡辺委員長 天井の高さについては前回私から指摘していたが、今の寸法が確保出来れば使い勝手もよいと思う。

屋上のところで気になる点があるのだが、ヒートアイランド現象対策として何もなされていないように見えるが、何かできないものか。

屋上緑化もほとんど外観上のもので、こういう建物を造るのであれば、もう少し配慮していただいてもよいのではないか。

前川・田中 コストや管理の問題はあるが、屋上緑化の面積を増やすことは可能だとおもう。後で触れるが、外壁まわりの断熱材吹き付けや屋上に遮熱塗料を塗布することも等を検討している。

渡辺委員長 建物自体の性能を上げていくことは当然のことで必要だと思うが、環境についてもっと工夫していただきたい。

この建物だけでヒートアイランド現象を起こすものでもないが、屋根面が大きいので環境に影響を及ぼさないような建物づくりをしていただきたい。

・バルコニー部分の断面計画について（前川・田中）

原寸図・模型による

- ・巾30cm×高さ15cm×奥行き12cmの穴あきブロックをバルコニーの先端に積む

平井委員 ガラスの外側には出られるのか。

前川・田中 現時点では出られるように考えている。

大型のガラスが入っているように見えるが、実際にはサッシュで小割りにして、季節のよい時期には利用者の方が自分で窓の開け閉めを出来るようなつくりとする。

(2) 構造計画について（前川・田中）

- ・鉄筋コンクリート造とする
- ・柱と梁で骨組みを造るラーメン構造（外壁周りには壁を設ける）

- ・経済スパンである7.2m×7.2mのグリット
- ・耐震安全性は通常の建物よりもグレードをあげる
- ・基礎は杭ではなく直接基礎を採用（GL-2.5m付近に関東ローム層）
- ・実施設計では当該敷地内のボーリング調査を行う

渡辺委員長 今回、市の方ではボーリング調査をしていないのか。  
 山崎庶務係長 実施設計の段階で行うことにしている。  
 今回は道路を挟んだ反対側に中間処理場を建設した際の土地の調査結果のデータを前川さんに参考にお渡ししている。

前川・田中 敷地から100m程離れた位置のデータをお借りした。  
 渡辺委員長 地盤調査事務所であれば、周辺のデータを持っているのではないか。  
 前川・田中 我々も確認している。  
 渡辺委員長 この辺りは非常によい土地のようである。

### (3) 設備（電気・空調・給排水）について（前川・浜）

- ・電力引込、受変電、幹線動力
- ・電灯（照明のゾーン分け、高効率型蛍光灯・LED照明、人感センサの採用）、フロアーコンセント
- ・情報：IT、電話、PHS
- ・防犯：機械警備、入退館管理、監視カメラ
- ・インターホン（EV等）、WCの非常呼出
- ・放送設備、テレビ共聴、視聴覚設備
- ・防災設備：火災報知器
- ・空調・換気設備  
 取り扱いの容易さ、安全性、メンテナンス性の面から熱源を電気とする考え  
 大人数が入る部屋の少人数利用にも配慮
- ・給排水設備・衛生器具設備  
 節水型や防汚タイプの衛生器具の採用を検討  
 給湯は電気貯湯式の採用を検討
- ・消防設備  
 この規模の建物であれば、屋内消火栓及び消火器で対応可能

渡辺委員長 今の話は極一般の話で、この建物特有のものは何かないのか。  
 前川・浜 機械室を設けていないので、屋上に熱交換をしながら換気を行う装置をゾーン分けして4台設置している。

前川・田中 それ以外に、家庭用ルームエアコン用の室外機を一回り大きくしたものがゾーンを分けて整然と並んでいる。

仙波委員 それは水冷ですか、空冷ですか。  
 前川・浜 空冷です。  
 前川・田中 電気については、キュービクルという受変電設備を将来の増設分も考慮して設置する。

渡辺委員長 屋上に露出で機械が置かれるのは仕方ないと思うが、景観への配慮

がなされていないように見受けられるが。

下からは見えないが、西側のマンションからは見えてしまう。

そんなにすごく費用をかけてというのではなく、機械がそのままただ置かれているというのではないように何か工夫してもらいたい。

先程のヒートアイランド現象対策に絡めて何か出来ないものか。

前川・田中

我々が今までにやった例としては、室外機を格子状の目隠しで覆い風が通る部分を残しつつ蔦類で緑化したことはある。

前川・橋本

駅の方から遠目に見たときに、建物はシャープできれいに見えても屋上に機械が無粋に顔をのぞかせるようなつくりにするなどということだと思う。今、田中の方からあった緑化の手法と、上から見下ろした時の美しいレイアウトについて検討する。

仙波委員

中央線からどのように見えるのか。

前川・橋本

ちょうど目線が機械がよく見えるレベルなので検討が必要である。

渡辺委員長

何か工夫していただきたい。忘れてしまうと出来たあとにがっかりしてしまうので。

多田委員

統一感のある色にして配置したらどうか。全体を緑で統一するような。

前川・橋本

あまり原色は使わないが、手法としては考えられる。

#### (4) 環境への配慮について (前川・田中)

- ・緑化：地上部、屋上の接道部廻り

壁面＝バルコニー下部等にてワイヤー張りによるツタ類の栽培

- ・雨水浸透、利用：浸透枮、透水舗装、雨水貯留タンク

- ・太陽光発電：10kw発電システム 1.6m×0.8mのパネルが48枚必要

温度上昇による効率低下の解消

耐用年数は20年程度

昼間発電したものは昼間使用し、余剰分を東電に売る

- ・建築的な配慮：屋上屋根面の遮熱塗装、屋根及び壁面の断熱

ペアガラスの採用、2階窓面 日影用スクリーンで工夫、自然換気が可能な窓形状

中村委員

太陽光発電について言及されたが、これについては市の当局とすり合わせされたのか。

前川・田中

今後コスト等の検討は必要であるが、可能性として提示しても宜しいとの了解はいただいている。

中村委員

費用対効果については、高い設置料に見合う採算がとれる見通しはあるのか。

前川・田中

正直なところ難しいと思う。

各社によってコストや性能に違いがあるので、正確なコストを算出してみなければ分からないが、発電する電気で返せるというところまでいっていないのが現状のようである。

中村委員 前川・田中	案として提案はされたが実現性には乏しいということか。 費用だけで判断してよいものか、環境のことも考えて採用していくか、両方を考慮していく必要があると思う。
仙波委員	現在我々の生活は安価な原子力発電にも依存しているわけで、太陽光発電というのはペイしない一種の流行のように思える。
渡辺委員長	今の状況では明らかにペイしないが、ドイツのように電力会社が買い取る価格を上げればペイする可能性もあがってくる。 私も兵庫県で屋根を全面的に太陽光発電にした経験があるが、それは兵庫県なりが考え方を示すということでやっているわけで、小金井市がもっと強こうって出るという意味があり、市民の方々が市の考えに賛同すれば可能だと思う。今の案は少々遠慮気味に出されているので、採用するならもっと多めに、見合わないならやめるといったどちらかの方がよいのではないか。 市の施設だから使いましょうというのを、皆さんが市にアピールしていただいて、市の方がのめば使えばよいと思う。
多田委員	60枚くらいで売電は可能なのか。
渡辺委員長	売電というのは理論的な話で、館内で使わなかった場合に売電することになる。
多田委員	館内で使っても売電できるのか。
前川・浜	この規模では無理だと思われる。
仙波委員	設備投資をして、それが20年もったとして、どれくらいになるかは簡単に計算できるのではないか。
前川・田中	試算はしているが、非常に厳しい状況にある。
伊藤委員	原発の安全性にまで言及することになるが、私個人は原発に反対なので、お金がかかっても是非太陽光発電を採用してほしい。
渡辺委員長	10kw程度であればそれほどすごいお金ではない。 私は反対しているわけではなく、やるならちゃんとやろうというだけで、今はほんのちょっとやろうというのが小金井市の姿勢としてどうなのか。街のイメージみたいなものが出てくるので、市民が納得すれば無駄なお金ではないと思う。 世界の色々な国でPV（ソーラーパネル）を採用していて、かつて皆さんの住宅の上に設置することで世界のトップであったのが、今では抜かれてしまっている。最近の設置率は非常に低くなっている。 市民としてだけではなく、国民としてどう考えるかというのも重要である。
仙波委員	土地がないところでやるのは大変だと思う。
渡辺委員長	それは土地の有る無しの問題ではなく、環境エネルギーをどれだけ使おうかというのを、市民一人一人がどれだけ考え、お互い納得するかということに戻っていくと思う。 ドイツがペイしているのは、無理矢理電力会社に高く買わせているだけである。
雫委員	ここで議論する話ではないと思う。市の方針だと思う。

渡辺委員長	ただ、設計事務所の方は市民検討委員会の皆さんがすごく支持したのか、あまり興味がなかったかによって、市に説明するときの意気込みが違うと思う。
粟 委 員 大関公民館長	私はやってほしいと思っている。 太陽光発電は、費用対効果を考えるとペイできないかもしれないが、市役所自体も一事業者としてCO2削減に大きな目標を掲げているので、地域センターに限らず今後学校にも太陽光発電を採用していこうとする考えをもっている。ご理解いただけるとありがたい。
仙 波 委 員	参考までに国会議事堂、国会の衆議院会館・参議院会館がCO2の削減にどれだけ貢献しているのか調べていただきたい。
平 井 委 員	太陽光発電において日本の企業はトップクラスであったにも係らず設置状況で遅れをとってしまった。今は前向きな方向に行かざるを得ないとき。市にそのようなお考えがあるなら、委員長がおっしゃる通り小規模ではあるが、やるべきだと思う。
多 田 委 員 前 川 ・ 浜 多 田 委 員 前 川 ・ 浜	給湯はガス、電気、或いは温水器でやるのか。 先程も申し上げたが電気の貯湯式で考えている。 太陽光温水器は考えていないのか。 お湯を使う用途としては、食器を洗う程度と聞いているので、電気 で考えている。
渡辺委員長 仙 波 委 員 渡辺委員長	最近また太陽光の温水器が見直されてきている。 私も使ったことがあるが、夏場は効く。 常にコストの問題はついてまわるが、そういうことも含め市民の皆さんもやめろという話よりは興味があるようにお見受けしたので、更に小金井市はやると館長もおっしゃっているので、もっと元気よく提案していただきたい。
松 尾 委 員 前 川 ・ 浜	オストメイトを設置する考えはあるのか。 最低でも多目的トイレの1箇所には設置する考えでいる。
渡辺委員長 前 川 ・ 田 中 前 川 ・ 橋 本	ガラスはすべてペアガラスで考えているのか。 フリースペースはかなり大きなガラス面であるが。 ペアガラスがとれる範囲でサッシュ割を考えていきたい。 外部に面するところはペアガラスで考えている。特に交差点に面する部分については、熱や光だけでなく音に対しても配慮が必要と考える。図書館やフリースペース等は使い勝手からいって遮音性の高いサッシュにする必要がある。 結露対策としては薄い空気層でもある程度効果がのぞめるが、遮音に関しては空気層を出来るだけ多くとることで、その性能が高まることになる。交差点で車が発進する際の騒音は物凄いものがある。
多 田 委 員 前 川 ・ 田 中	そうしたなかで、先程通風を確保する話があったが、それらの整合性はどのようにとるのか。 開きたい時に開けられないというのはまずいと思う。

前川・橋本  
仙波委員 静かな時や、季節の風を感じたい時に開けられるのは大事だと思う。  
新小金井街道は大体午前10時から午後3時くらいまでは、それほど交通量は少ない。

粟委員 2階の北側は窓になると思うが、北側民家のプライバシーについて配慮されているのか。

前川・田中 真北の部分は生産緑地になっているので将来的にも緑が期待できると思われるが、北一会館側の民家に対しては現地を確認しながら、ガラスの種類等について検討したい。

伊藤委員 前は調理室の隣に保育室兼用とあったのが、今回は生活室になっているが、私のなかでは親子連れのお母さんの横で子どもたちが遊んでいるような部屋があったらよいと思っていた。

前川・田中 ネーミングについては保育室でなくなったというわけではない。使われる内容からして保育室よりも生活室の方がよいのではないかとということでそうしているだけである。

前川・橋本 使われ方としては、調理をするお母さんの横で子どもたちがごろごろ出来るような空間をイメージしている。

先程のネーミングの話もあわせて、部屋の使われ方や部屋に設けられている設備・設えが分かりやすいネーミングにさせていただくと混乱がないのかもしれないということも含め、名前の付け方というのは大事だと思う。

極端な話をすれば建設時にサイン工事を行うが、それまでに決定していればよい。万が一結果が出るのが先送りになったとしても、使われ方を意識したり、それに至ったプロセスが大事であると思う。

多田委員 直接基礎は何メートルくらい掘るのか。

前川・田中 先程お話ししたのは近所のデータから推測したもので、約2.5mです。

多田委員 ローム層の少し上まで掘ることになるのか。

前川・田中 支持地盤にちょうどよいのが2.5mのところですよ。

多田委員 全く地下水には影響が出ないと考えて宜しいか。

前川・田中 今いただいているデータでは問題ないが、実施設計の際にボーリング調査をして、その値に基づいて計画しなければならない。

### 3 次回以降の開催日程について

山崎庶務係長 第7回市民検討委員会は、12月8日(水)午後7時から市役所第二庁舎8階801会議室にて開催する。

その後、年末年始のお忙しい時期ははずさせていただき、その次の第8回市民検討委員会は、1月23日(日)午前10時から同会場にて予定している。

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設  
第6回市民検討委員会次第

日 時：平成22年11月28日（日）  
午後 6時～  
場 所：市役所第二庁舎8階  
801会議室

- 1 前回の質問事項等について
- 2 基本設計について
  - (1) 前回プランの調整と断面計画について
  - (2) 構造計画について
  - (3) 設備（電気・空調・給排水について）
  - (4) 環境への配慮について
- 3 次回以降の日程について
- 4 配付資料
  - (1) 質問事項回答一覧（11/17まで受付分） …資料 21
  - (2) 全体配置・平面・断面計画について …資料 22

質問事項回答一覧 (11/10~17受付分)

平成22年11月28日配付

No.	受付日	質問者	質問事項	回答
5	11月10日	百瀬和浩	北一会館と地域センターの敷地は分割（建築基準法上）するとの事ですが、一般的に民間事業者がこのような土地利用をする場合は、境界線を明快にし、二重に利用する事は違法行為との行政指導を受けますが、この様な土地利用を市が行う事に問題はございませんか。	境界線については、建物の用途上敷地を分割する必要があると考えており、現在、北一会館の管理者である貫井北町一丁目町会と調整中であり、二重に利用しない形で検討中です。
6	11月10日	百瀬和浩	「窯」の熱源を電気とする予定とのことですが、エネルギー利用の観点から問題があるとの認識はございませんか。	今回、新しい施設を建設するにあたり、市民ニーズを可能な限り反映させるため、要望された諸室空間を最大限配置するよう市民検討委員会にて検討しているところです。陶芸窯の熱源については、高熱で利用する際の影響や、近隣住民への影響及び、排気、換気設備上の制約など考えると、電気設備であることが望ましいとの判断をしており、管理上も有利と考えております。電気陶芸窯の機種を選定にあたっては、省エネルギーに配慮したものの選定を考慮する予定でおります。

## 2 基本設計について

(1) 前回プランの調整と断面計画について 図面名称: AR案 → AR2案

### □ 全体配置

- ・ 北一会館廻りの境界線位置については、駐車場・駐輪場を含め調整中

### □ 1階平面

- ・ 図書館
  - ・ 入口廻り(BDS)の出入り易さの工夫
  - ・ 読書テラス範囲を広く、出入口を2箇所配置
  - ・ 蔵書数確認 開架図書: 一般合計+児童合計= 56,000 > 55,000 冊  
(一般:児童 = 3:1)  
AV: VHS:1,160本+DVD:1,300本+CD:1,600枚  
新聞: 12紙、雑誌: 84誌  
閉架図書: 5,000 冊
- ・ 席数
  - 一般: テーブル(15人)+カウンター(10人)+キャレル(4人)+丸椅子
  - AV: テーブル(6人) + 新聞: テーブル(3人)
  - ブラウジング: ソファ(9人) + 丸椅子
  - 児童: テーブル(14人)+カウンター(3人)+お話+丸椅子
- ・ 図書館閉館時の区画方法: 夜間はFIXガラスと扉施錠、防火シャッター(非常時区画)

### □ 2階平面

- ・ 公民館
  - ・ 創作室: 流し台等の什器配置
  - ・ 食のスペース: 調理台、収納等の什器配置
  - ・ 室名の変更 講義室A → 学習室C・D  
講義室B → 学習室A・B  
保育室 → 生活室  
食のスペース →  
ITルーム →  
フリースペース →  
レクリエーション室 →  
中高生のスペース → 若者のスペース  
楽器練習室 →

### □ 断面計画

- ・ 創作室天井高さ 東側の低い部分: 2.2m → 2.3m
- ・ 学習室、食のスペース天井高さ 北側の低い部分: 2.1m → 2.4m



[AR2案]

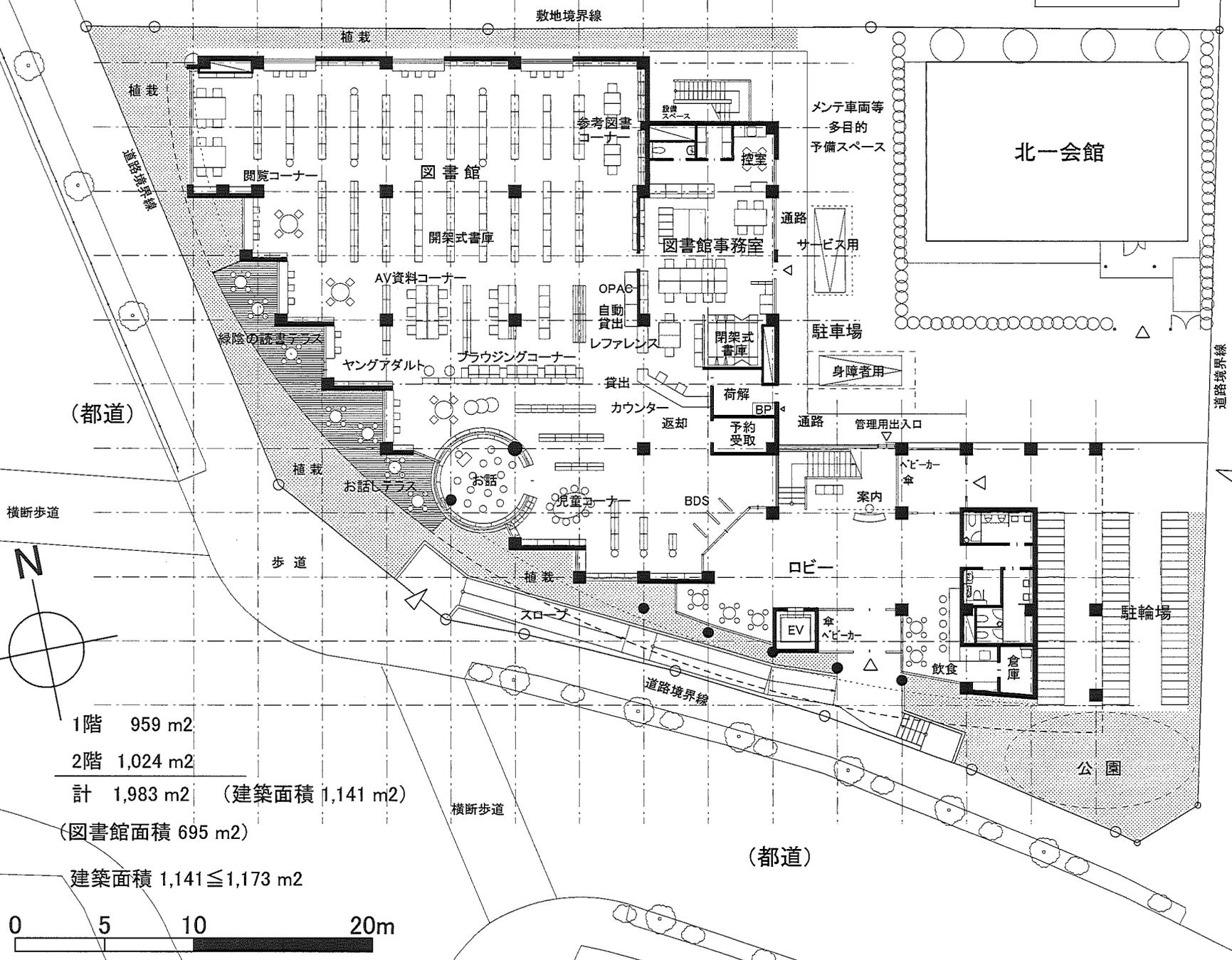
民家

※駐車場・駐輪場の配置スペースは調整中

駐輪場 (計:100台予備を含む)

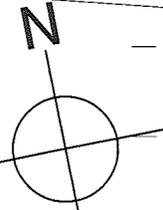
駐車場 (計: 4台)

- ・身障者用: 1台
- ・サービス用: 1台
- ・予備: 2台



(都道)

横断歩道



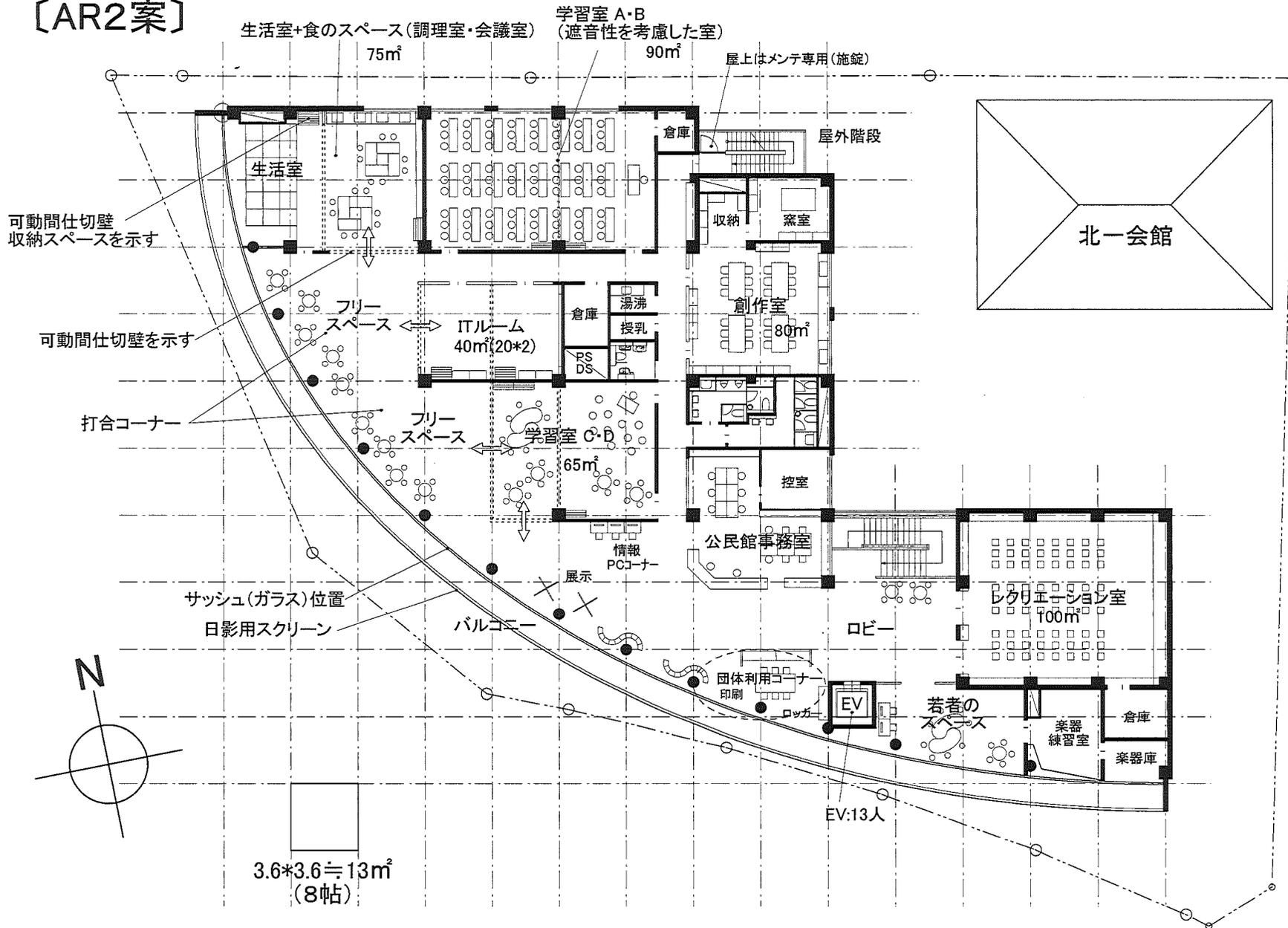
1階 959 m<sup>2</sup>  
 2階 1,024 m<sup>2</sup>  
 計 1,983 m<sup>2</sup> (建築面積 1,141 m<sup>2</sup>)  
 (図書館面積 695 m<sup>2</sup>)

建築面積 1,141 ≦ 1,173 m<sup>2</sup>

0 5 10 20m

1F

# [AR2案]



2F